

**第 43 回青森県臨床細胞学会  
総会並びに学術集会**

**プログラム**

**日 時** 令和 8 年 3 月 7 日 (土) 12 : 30 ~ 17 : 00

**参加費** 1,000 円

**会 場** 青森県観光物産館アスパム 5 階 あすなろ

**問い合わせ先**

弘前大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座  
弘前市在府町 5  
TEL 0172-39-5107

本学会の特別・教育講演は、令和 7 年度青森県生活習慣病検診従事者指導講習会  
(子宮がん・肺がん検診細胞診従事者指導講習会) を兼ねています。

**主催 青森県臨床細胞学会**

**学術集会長 横山 良仁**

～プログラム～

|                 |             |
|-----------------|-------------|
| 青森県臨床細胞学会役員会    | 11:00～11:50 |
| 青森県細胞検査士会総会     | 12:30～12:50 |
| 第43回青森県臨床細胞学会総会 | 13:00～13:20 |

1. 一般演題（発表7分、討論3分）13:30～14:20

座長 弘前大学医学部附属病院 産科婦人科

追切 裕江

- (1) 転移性脳腫瘍を契機に診断された子宮体部混合型小細胞神経内分泌癌の一例  
○三浦理絵<sup>1)</sup>、田村良介<sup>1)</sup>、鈴木紗貴子<sup>2)</sup>、田中香織<sup>2)</sup>、三上千尋<sup>2)</sup>、黒滝日出一<sup>2)</sup>、加藤哲子<sup>3)</sup>  
1) 青森県立中央病院 産婦人科  
2) 青森県立中央病院 病理診断科  
3) 弘前大学 大学院保健学研究科 生体検査科学領域
- (2) 婦人科腫瘍との鑑別を要した膀胱癌の2例  
○松村由紀子<sup>1)</sup>、重藤龍比古<sup>1)</sup>、追切裕江<sup>1)</sup>、水沼慎人<sup>1)</sup>、小島啓子<sup>2)</sup>、横山良仁<sup>1)</sup>、加藤哲子<sup>3)</sup>、黒瀬顕<sup>4)</sup>  
1) 弘前大学 大学院医学研究科 産科婦人科学講座  
2) 弘前大学 医学部附属病院 病理部  
3) 弘前大学 大学院保健学研究科 生体検査科学領域  
4) 弘前大学 大学院医学研究科 人体病理学・病理診断学講座
- (3) 心臓原発の滑膜肉腫の一例  
○熊谷直哉<sup>1)</sup>、小島啓子<sup>1)</sup>、岡田壮士<sup>1)</sup>、高木麻緒<sup>1)</sup>、藤田大貴<sup>1)</sup>、及川颯大<sup>1)</sup>、丸山裕也<sup>1)</sup>、稲部朱音<sup>1)</sup>、鈴木俊顕<sup>1)</sup>、黒瀬顕<sup>1) 2)</sup>  
1) 弘前大学 医学部附属病院 病理部  
2) 弘前大学 大学院医学研究科 人体病理学・病理診断学講座
- (4) エナメル上皮種の一例  
○八木橋祐弥<sup>1)</sup>、長谷川多紀子<sup>1)</sup>、山田ゆかり<sup>1)</sup>、神翔陽<sup>1)</sup>、楠美智巳<sup>2)</sup>  
1) 青森市民病院 臨床検査部 病理検査室  
2) 青森市民病院 病理診断科

(5) 細胞診の生涯学習・資格取得に関する環境整備の取り組み

○宮川 京大<sup>1)</sup>, 渡邊 純<sup>2)</sup>, 鬼島 宏<sup>3)</sup>

1) 弘前大学大学院保健学研究科 生体検査科学領域

2) PCL 東京 病理・細胞診センター

3) 弘前大学大学院医学研究科 医学教育学講座

2. スライドカンファレンス (出題2分、解答5分、解説8分、質疑5分)

14:30～15:10

座長 弘前大学医学部附属病院 病理部 藤田 大貴  
青森県総合健診センター 平田 留美

(1) 体腔液 (胸水)

出題 青森県立中央病院 病理部 星合 桂太  
解答 八戸市立市民病院 臨床検査科 病理 河村 圭亮

(2) 膀胱瘍

出題 青森市民病院 臨床検査部 病理検査室 山田 ゆかり  
解答 弘前大学医学部附属病院 病理部 稲部 朱音

3. 教育講演 15:20～15:50

座長 弘前大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座 重藤 龍比古

『細胞診検査と救急医療現場』

八戸市立市民病院 救命救急センター 奥沢 悦子 先生

4. 特別講演 16:00～17:00

座長 弘前大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座 横山 良仁

『HPV 検査単独法を見据えた今後の細胞診の在り方』

東京女子医科大学 産婦人科学講座 田畑 務 先生